

防火作文の部

☆ 最優秀賞

『火』

「〇月〇日、ホテルが火事になりました。」その日、あるホテルが火事になりました。出火した場所は事務所だったそうです。その火事で人がはいまませんでした。一歩まちがえれば数人けがをしていたかもしれないかもしれません。そう考えると怖くなりました。

テレビでアナウンサーが、「火のあつかいには、十分に注意してください。そして、出かける前などは、火がついていないか、確認をしてお出かけください。」とよびかけていました。私も出かける前に、確認してから出かけようと思います。

私が通う野塚小学校では、避難訓練の他、火災訓練をします。火災訓練の最後には、消火器で消火練習もします。その練習が今後役立つといいと思います。

次に、小学校で、四年生から六年生までが入っている消防クラブというものがあります。消防クラブでは、消防署で消火練習をしたり、夜回りで火の用心

をよびかけます。このよびかけで、火に気をつけてくれる人が増えたらいいと思います。

火は、小さな火でも放っておけば、大きな火になってしまいます。そうすると、火事がおきてしまいます。ライターなどの小さな火であつたとしても、燃えうつた時は、ぬれたぞうきんやタオル、近くにある消火器で消火するのいいと思います。もしそれで消えなければ、消防車をよんだり、安全な場所へひなんしてください。

最近、家に放火をしたり火遊びをして、火事になることがあります。それはとても、残念な事だと思います。また、身のまわりには、色々な工夫があります。たとえば、ライターは子どももの力ではつかないようになっています。こういう努力で、少しでも火事が減っていくといいです。そして、火遊びや放火は絶対にしないでほしいです。そして、火器等は、幼児などの届かない所に置くといいです。

私は、この作文を書いて、あらためて火のあつかいには気をつけようと思いました。火遊びなど見かけたら、できるだけ止めるように声をかけたいです。